

Minami Kyushu University Syllabus										
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		環境園芸学科			
科目名称	造園学概論					授業形態		講義		
科目コード	231300	単位数	2単位	配当学年	1年	実務経験教員		○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	平岡 直樹、牧田 直子、林 典生、岡島 直方、関西 剛康									
授業概要	<p>造園学に関する基本的な知識や技術を習得する。造園計画や施工等にかかわる技術者が最初に目指す資格である造園施工管理技士の試験内容を中心に概説する。造園学分野で今後学習する科目群に関連して、具体的な事例を提示しながら授業を展開する。造園学の意義、造園学の歴史と様式、土壌と肥料、植栽、造園材料、造園施工、公園、土木関連工事、建築関連工事、設計・施工、関連法規など、基本的な内容を取り扱う。詳細な授業の進め方については、授業の初回の「ガイダンス」において説明する。複数の実務担当教員がその実務経験を活かして、実際の造園計画、設計の業務や施工の現場での経験、事例を写真等を用いて示しながら、判り易く造園学の全体像を示す。</p>									
関連する科目	<p>今後のほとんどの造園学分野関連の授業にかかわる。例えば、測量学については、「測量学」「測量学実習」、庭園関係は「庭園学」、植物関係は「樹木学」「造園ガーデン材料論」などが関連する。</p>									
授業の進め方 と方法	<p>この科目は教員によるオムニバス形式で講義が行われる。造園施工管理技術者の資格試験用の学習テキストを使いながら、担当する各教員が順番に講義を行う。講義の終了時に小テストなどがあり、それぞれの回の授業内容が理解されているかどうか確認する。最後に模擬試験を行い、授業全体にかかわる理解度を確認する。特別講義では、造園の実務家を招聘し、アクティブラーニング型のグループに分かれてのワークショップを開催する。</p>									
授業計画 【第1回】	<p>造園学とは ガイダンス 授業で使用するテキスト、授業の進め方、全体像を提示する。</p>									
授業計画 【第2回】	<p>1章：造園の歴史と様式、日本庭園の歴史と様式 造園史の概要を学ぶ。</p>									
授業計画 【第3回】	<p>2章：土壌と肥料（土壌、肥料）、3章：植栽計画・施工（植生、植栽計画） 土壌から植栽計画まで学ぶ。</p>									
授業計画 【第4回】	<p>3章：植栽施工準備、移植工、植栽工、植栽管理） 植栽の施工から管理までを学ぶ。</p>									
授業計画 【第5回】	<p>4章：造園材料（植物材料、花壇材料） 造園材料の内の植物や花壇材料を学ぶ。</p>									
授業計画 【第6回】	<p>4章：造園材料（石材、その他の材料）、5章：造園施工（造園施工、舗装・石積み工事、庭工事） 造園材料の石材等から造園施工について学ぶ。</p>									
授業計画 【第7回】	<p>6章：遊戯・運動・公園施設（遊戯施設、屋外運動施設、公園施設） 主に植物や造園に関わる計画や施工について学ぶ。</p>									
授業計画 【第8回】	<p>7章：土木関連工事（土工事、コンクリート工事） 土工事からコンクリート工事を学ぶ。</p>									
授業計画 【第9回】	<p>7章：（舗装工、擁壁工事、排水工事） 舗装工事から排水工事まで学ぶ。</p>									
授業計画 【第10回】	<p>8章：建築・設備関連工事（建築工事、電気工事、給水工事） 建築や設備に関連する工事について学ぶ。</p>									
授業計画 【第11回】	<p>9章：設計・測量（測量、設計図書） 設計や測量について学ぶ。</p>									

授業計画【第12回】	10章：施工管理（施工管理、工程管理、品質管理） 施工管理について学ぶ。
授業計画【第13回】	11章：関連法規（労働基準法、労働安全衛生法、建設業法、都市計画関係法、建築基準法、その他の法規） 土木や建築など建設業一般にまたがる工事種目について学ぶ。
授業計画【第14回】	特別講義、グループワークショップなど 実社会で活躍している人たちとのワークショップを通じて造園の実務の実情や課題を学ぶ。
授業計画【第15回】	総括 模擬試験など 2級造園施工管理士の受検を想定した練習問題に取り組み学んだ成果を確認する。
授業の到達目標	造園施工管理技士2級試験の合格レベルを目指す。【専門分野の知識・理解】【専門分野のスキル】
学位授与の方針（DP）との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1) / 1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)
授業時間外の学修【予習】	テキスト及び第1回目の授業で示す参考図書など造園学に関する資料を授業前に読んでおくこと。また、造園学の分野がどのようなものであるかを理解するため、授業中に紹介する身近な造園空間を訪問したり、全国的著名な庭園や公園緑地に関わる資料や図版等を見ておくこと。（約1時間）
授業時間外の学修【復習】	テキスト及び第1回目の授業で示す参考図書など造園学に関する資料については、授業後にさらに理解を深めるために再度精読すること。各授業の最後に行われる小テストで回答できなかった内容については見直しておくこと。（約1時間）
課題に対するフィードバック	各授業のおわりに実施される小テストが返却される。 模擬試験については、解答例やテキストのどの場所に説明がなされているかなどを示す。
評価方法・基準	小テストとレポートで100%評価するが、この内容が合格点に達していないと試験を実施することがある。
テキスト	「2級造園施工管理徹底研究 オーム社」を使用する。入手方法については、第1回目の授業で説明する。毎授業に必ず持参すること。
参考書	
備考	